

放課後等デイサービスピースセカンド自己評価結果等の公表（R3.3 実施）

自己評価結果の検討会議の記録

日時：令和3年3月25日（木）15:30-16:00

場所：放課後等デイサービス ピースセカンド

参加者：桑原、山本、宮崎、元岡、梶栗

○事業所全体による自己評価の討議と改善目標設定をした。なお、当日参加できなかったものには後日個別で内容を共有し、ヒアリングを行った。結果は以下のとおりである。

① 保護者等による評価と改善目標の設定から

「はい」の回答がほとんどで「いいえ」の回答は少なく、概ね満足に行く利用につながっている。以下、「どちらともいえない」の回答を主に検討会議にて現状共有と改善目標を立てた。

- ・3項目目の「バリアフリー化」については「いいえ」という回答があり、施設の構造上限界があるが、現状の利用者に関しては使用に問題がないことを確認した。
- ・6項目目の「放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもとの活動する機会があるか」だが、開所まもなくまだわからないという意見が多く見られた。令和3年度は、日曜日に中高生のワールドカフェ（対話の場）、農業自然体験などを行っていく。子どもたちのニーズや希望を聞きながら、様々な活動を行っていききたい。
- ・保護者支援なども毎月開催をしているが、これから参加される方も多いことを確認している。
- ・職員からは、利用開始の子どもたちが早く安心して過ごせるようになってほしいという意見や、活動時に使用する知育教材や学習支援での教材の検討などを行った。
- ・また、保護者との情報共有の強化を図りたいという意見が出た。これまで連絡帳やLINEやメールなどを活用しコミュニケーションを取ってきているが、必要に応じ面談などを積極的に行い保護者との信頼関係、安心感を構築していく。
- ・情報発信などを充実させていきたいという意見が出た。これまでの事業所掲示やお便り配布をすることも大切に、さらにホームページの充実など広報を充実させていく。今後も利用者やご家族が安心できる支援を継続していく。

② 職員による自己評価と改善目標の設定から

- ・ 3 項目目のバリアフリー化については、現在利用者に関しては不自由なく利用ができていると考える。必要に応じて今後も修繕しながら子どもたちが安全に過ごせ、支援できる場所を作る。
- ・ 22 項目の「医療的ケア児」については、当事業所では受け入れ体制が整っておらず現段階では受け入れる予定はない。
- ・ 26 項目の「放課後児童クラブや児童館との交流」については、当法人として広く呼びかけ開催を行っているのちがやくプロジェクトなどで共に活動できるように工夫している。
- ・ 42 項目の「食物アレルギー」については、面談の際のアセスメントでも項目を設け確認をしている。
- ・ 28 項目の「共通理解を職員間では持っている」が、こちらの自己満足にならないように行っていく。
- ・ 開所して間もないが、利用者のご家族と密にコミュニケーション取るように務める。話す機会の少ない方や自分から発信できない保護者もいるので丁寧に取り扱えるようにする。月 1 回行っている座談会などにもお声掛けをして家族視点での支援をしていきたい。

今回のアンケート結果で判明した①、②の改善点を職員間で確認共有、検討して、さらなる子どもたちの利益の保証、サービスの提供を実施していくことで確認した。

以上

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表(R3.3)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	個別支援ができる空間を作っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2	0	適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	0	構造上難しさもあるが、最大限配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	0	定期的に職員会議を実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0	年1回アンケートを実施している。必要に応じて相談に応じている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	0	第三者委員を設けている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	面接時にアセスメントをとり、計画に反映し取り組んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	共通のアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	日々のミーティングで確認している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	日々の状況に応じたプログラムを作成している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	日々の状況に応じたプログラムを作成している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	個別の時間、集団の時間を分けて行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	毎日行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	毎日行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	毎回記録を取り、支援の改善につなげている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	モニタリング、個別支援計画を立て、行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	0	0	個別と集団のサポートの中で行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	毎回参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	適宜学校と情報共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	1	該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	0	必要に応じて行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	0	必要に応じて行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	0	研修等をしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	0	休日のイベントなど機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	0	毎回参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	0	面談や相談等随時受け付けている。来年度研修を行う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	初回面談時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	適宜行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	1ヶ月に1回座談会を行っている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	毎月発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	4	1	0	注意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	連絡帳や毎回の送迎時にお話している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	0	近隣住民と交流を図りながら行っている。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0	作成している。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	年2回行っている。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	年2回行っている。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	記載している。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	0	アセスメントで把握している。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2	0	事例集を作って職員会議等で確認している。	

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表 (R3.3.31)

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1	0	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	1	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6	1	0	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	5	2	0	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	0	まだ利用はじまったばかりなので。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	0	0	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	0	0	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	0	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	
14 個人情報に十分注意しているか	6	1	0		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	1	0	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1	0	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	4	3	0	
	18 事業所の支援に満足しているか	7	0	0	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。